

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第93号

2025.8.1



高校生
議員

箕輪町の未来を考える

意見交換会

P4・5

特集

知りたい！みのわの^{コメ}米事情 … P3

CONTENTS

- 議会組織改選 …………… P2
- 6月定例会で決まったこと …… P6・7
- 審査のなかみ …………… P8・9
- 町の声・みのわまちのいいところ … P10
- 町政のここが聞きたい！
一般質問 …………… P11～19
- 自治のチカラ
行政視察 …………… P20



議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で！ 各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

新体制でスタートします。

議会組織改選

4月24日(木)臨時議会において正副議長選挙等が行われ、議会構成が決まりました。



※任期中の改選は「申し合わせ改選」といい、特定の委員会や役職の任期を、法律や条例ではなく、議会内の申し合わせによって改選する。箕輪町は2年としている。これにより、委員会や役職に特定の議員が長期間在籍することを避け、権力集中を防ぐ。より多くの議員が経験を積み、議会活動の活性化を図る。



箕輪町議会議長
入杉百合子

今回の新体制では、正副議長、委員長2人が新しい顔ぶれとなりました。前2年間とは別の視点で、それぞれの立場においてリーダーシップを発揮していただき、議会にこれまでとは違った新しい風が吹き込まれることを期待します。議会システムのDX化に伴い、議会の見える化と活性化をより進めたいと思います。



箕輪町議会副議長
平出 広志

公平公正な議会運営に努め、町民の皆様の声に耳を傾け、地域課題の解決に全力で取り組みます。議長を補佐し、持続可能で、活力あるまちづくりの一翼を担う議会の活性化に向け、職務に邁進してまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

知ってる? 議会のしくみ

町議会では本会議における最終的な判断を下す前に、きめ細かに案件を調査する機関として、政策分野別の審議、予算や決算等の審議、特別なテーマを審議するために、委員会制度が設けられています。

常任委員会

各部門に属する町の事務に関する調査や、議案・陳情等の審査を行います。町議会には、2つの常任委員会があり、議長以外の議員はそのどちらかに所属します。

総務産業 常任委員会

総務、企画振興、住民税務、農林、商工観光、建設、上下水道、会計、選挙、消防などに関する事項、ほかの常任委員会の所管に属さない事項を審査します。

委員長
岡田 建二郎



活発な議論を喚起し委員の意見を集約していきます。学び、行動する委員会を目指します。

福祉文教 常任委員会

くらしの安心安全、福祉、子育て、健康推進、学校教育、文化スポーツ、保健、衛生などに関する事項を審査します。

委員長
寺平 秀行



町民生活の向上のため、基本に忠実な委員会運営を行っていききたいと思います。

議会運営委員会

議案の取り扱い検討など、議会の円滑な運営のための協議を行います。

委員長
中澤 清明



これまでの経験を踏まえ、円滑な議会運営に精一杯努力いたします。

議会活動活性化委員会

開かれた議会をめざし、町民との意見交換会、中学生模擬議会、議会アンケートなどを実施します。

委員長
上田 学



議員同士の対話を深める1年目、町民とのつながりを広げる2年目として、議会をより身近で開かれた存在にします。

議会広報特別委員会

議会だよりの企画編集・発行や、町のホームページ等にて議会に関わる情報を、町民にお伝えします。

委員長
中野 友美



議会だよりを改革した2年。皆さんにより多くを伝え、課題提起をしていきます。

所属委員会	平出 広志	荻原 省三	金澤 幸宣	白鳥 真吾	中野 友美	上田 学	岡田建二郎	小口 智世	南 朋子	寺平 秀行	北野めぐみ	中澤 清明	中村 政義	小出嶋文雄
総務産業常任委員会	○	○	○		◎	○	●					○		
福祉文教常任委員会				○				○	○	●	◎		○	○
議会運営委員会	○			◎			○					●		
議会活性化委員会	○			○		●	○	◎		○		○		
議会広報特別委員会		○			●	◎			○		○			
議会監査委員														○

知りたい! みのわの米事情

日本中から米が消えた——
米不足の波紋は、箕輪町も例外ではなく
直売所やスーパーでもお米が手に入りにくい状態が続いている。
6月定例会一般質問でも、複数の議員から米に関する質問が相次いだ。
町はどう動くのか? ビジョンはあるのか?



米の町、みのわ

箕輪町は、耕地面積の47%が水田。農業経営体の約7割が稲作を行っており、自給用を含めると576ヘクタールが田んぼの、まさに米の町だ。(2020年農林業センサスより)



町民のInstagramより

あるのが当たり前ではない 水田を水田として守る

減反の壁—なぜ米を作れないのか

1971年から始まった減反政策。2017年に国の政策としては廃止されたが、生産調整と名前を変え、県や農業団体からの目安値の提示という形で事実上続いている。

農家からも、「なぜまだ抑制するのか」との声が聞こえた。

町も、目安値の不平等や農業者からの理解が得られていない実状を把握しており、長野県議会へ対応の柔軟性と目安値の廃止論を含め要望した。

米の地産地消と学校給食

町は、学校給食用に約27トンを提供。ほぼ週に4日のペースで上伊那産コシヒカリ100%の米飯給食となっている。また、コメが高騰しても、保育園・小中学校の給食費負担は増やさない方針。

医療・福祉施設等への支援は

支援の要請はなく、物価高騰対策支援金で対応。社会福祉協議会では今回新たに、玄米備蓄用の低温貯蔵庫の購入を決めた。

上伊那8市町村で足並みを揃える

平成以降「地域ブランド米」として、地域一体となって取り組んできた歴史がある。共同で持つカントリーエレベーターは5基。集約管理を行うことで品質が保たれている。サイロで籾のまま貯蔵し、注文に応じて出荷する、すりたての「今ずり米」は、年間通じて品質と味が変わらず評価が高い。また、上伊那地域の学校給食への貢献など、地産地消の足掛かりとなっている。

町長も「地域のおいしいお米、極めて優良で優秀なお米を子どもたちに食べてもらう方策は必要と思う」と述べている。



お米に困らない町に

縁故米を入手できる人、お店で買わなければならない人、そして、米農家の想い。町民のなかにも温度差はあるが、誰にとっても切実な今回の米騒動。

町長の回答は一貫して、「国の調査を待ち上伊那で足並みを揃える」だった。上伊那で意思統一を図らなければならない事情も理解した。しかし、政府はMA米※の輸入を前倒しで進めるなど、わたしたちの食べる日本のお米がどんどん外国産に置き換わっていく。安いコメを求め続け、農家にだけ苦しみを押し付けてきた消費者としての行動を問い直す必要はないか。また今、一人ひとりが動き出すときではないだろうか。

※MA米とは…ミニマム・アクセス米。世界貿易機関(WTO)協定に基づき、日本が海外(主にアメリカやタイ、中国など)から最低限輸入しなければならないコメで、現在、無関税枠内は年間約77万トン。うち約10万トンが主食用となっており、年間購入額は10年前と比べて2~3倍にも上る。

高校生 × 議員

箕輪町の未来を考える

意見交換会



6月23日、箕輪進修高校生徒会役員24人と議員14人が参加して、意見交換会を開催した。テーブルごとのテーマについて、メンバーを入れ替えながら対話する会議の手法“ワールドカフェ形式”で箕輪町の未来についてアイデアを出し合い、互いへの理解を深めました。

生徒会長に聞きました

- Q ワールドカフェ形式はどうか？
 A 高校生全員が関わったと思う。性格もあって、意見があっても言えない生徒もいるが、この方式は気軽に意見を言えたのではないかなと思う。
- Q 議員の印象は？
 A あまり会う機会がないので、怖いと思っていた。テレビで見ている人たちなので。今日も、堅苦しい雰囲気の中で話をするのかと思っていたが、皆さん親しみやすかった。関わってみて、この人たちに任せていたら、町を良くしてもらえるのではないかなという印象を受けた。何を言っても受け止めてもらえたとし、活かしてもらえと思った。
- Q 今日は何んところが有意義でしたか？
 A 普段考えないこと、例えば図書館のことなどを考えることができた。町民の方々からも「直したらいいんじゃない？」という話があったことを、自分たちは知らなかった。そんなことまで考えているんだと分かった。今、議員の方たちで考えていることが、自分たちにも共有されて、町が変わる一歩手前の状態を知れただけでも、参加した意味があったと思う。

- Q 実際に行動できそうなことはありましたか？
 A 思ったよりも多文化のことが出ていた。ポルトガル語を話せるという自分の強みを使って何かできればいいと思った。外国人とか日本人とか関係なく住みやすい町を作るような活動に参加してみたい。



藤沢カウエ勇志さん

後輩たちも箕輪町の現状を知れると思うので、もっとこういう機会が増えるといい。年に1回「未来シンポジウム」討論会をやっている。この学校をどう直したり変えればいいのかなどについて、将来的には議員の視点での意見をもらえるよう、規模を広げていければと思う。

議員の視点

意見やアイデアは持っているのでも、発信や交流する機会があれば、高校生の思いを行政や政治に反映することができると改めて感じた。今後は、議会活動活性化委員会で話し合い、まとめた内容をHPで掲載します。



「中学生高校生が町の政治に興味を持つにはどうすればよいか」

- ・自分たちの未来を考える
- ・授業で政治について知る
- ・直接話を聞いてみる
- ・TikTokで発信する
- ・議会を見てみる



「高校生と地域のつながりを増やすためには何が必要か」

- ・高校生から SNS などでも発信する
- ・一緒にごはんをつくる
- ・学校行事に参加してもらう
- ・スポーツ大会をする
- ・イベントに参加する機会を増やす



「町の環境保全のために私たちができることは何か」

- ・野菜などを育てるイベントをする
- ・ボランティア活動
- ・家庭で話をする
- ・ゴミの分別をする
- ・環境と関わる植物を育てる



「箕輪町の魅力をどう発信すればよいか」

- ・テレビ新聞インターネット SNS を使う
- ・グルメを発信する
- ・お土産品を開発する
- ・新しいキャラクターを作る
- ・文化祭でコーナーを設ける

「「住みたい」「帰ってきたい」と思える箕輪町とは」

- ・飲食店が多い町
- ・道や川にゴミが少ない町
- ・支援が多い町
- ・サッカーコートがある町
- ・休日にイベントがある町



「防災の観点から安心して暮らせる町とは」

- ・避難所で暇にならぬようにボードゲームなどを用意する
- ・安心安全なトイレがある
- ・助ける側へ回れるようにする
- ・危険な箇所を知っておく
- ・外国ルーツを持つ人のことも考える



「新しい図書館をつくるとしたら、どんな図書館がよいか」

- ・悩み相談ができる
- ・カフェスペースがある
- ・足湯がある
- ・飲食OK
- ・自然の中にある



6月定例会で こんなことが決まりました

決定!

6月2日から17日までの会期で開催されました。
補正予算・請負契約など全15議案を審議し可決しました。

補正予算 役場駐車場安全対策

役場裏駐車場東・北側へ
転落防止柵を設置する。

180万円



補正予算 もみじ湖インバウンド対応計画策定 及び情報発信業務委託料

もみじ湖行楽時の
インバウンド対策をする。

348万7千円

▶P8「ココに注目」参照



補正予算 定額減税調整給付事業費

前年度予算に対して不足が
あった、定額減税対象者へ
の給付。

5,400万円

補正予算 Office後継ソフト利用環境構築 業務委託料

役場職員PCのOfficeライセンスをリースから
購入に切り替える。

1,089万7千円

補正予算 給食室空調設備工事(東小学校)

給食室エアコン取り替え
工事。

237万6千円

▶P9「議員の視点」参照



請負契約

社会福祉総合センター解体工事

請負者 日之出建工株式会社
(随意契約)

老朽化した社会福祉総合セン
ターの解体工事を行う。

1億670万8千円



請負契約

町内の小中学校学習用コンピューター 更新業務委託

請負者 キッセイコムテック株式会社(随意契約)
令和2年に整備された1人1台端末機器
を更新する。

9,789万8千円



財産の無償貸付

障がい者グループホーム開設土地無償貸付

貸付先 株式会社 煌めき

町内に不足する障がい者グループホームについて、民間福祉事業者が施設を
開設するため、沢町宮住宅跡地2,407㎡を30年間無償で貸付する。



4月臨時議会

令和7年度一般会計補正予算(第1号)

農業動力光熱費高騰 対策支援事業補助金

物価高騰の影響による、燃
料及び光熱費の高騰に対
し、農業者への緊急支援と
して一部を補助。

1,800万円



社会福祉施設物価高騰対策支援金

町内48か所の福祉施設に、
一律5万円を支給する。

240万円

みのわ温泉ろ過器 ろ材入替業務委託料

みのわ温泉の故障したポンプ
と、予備ポンプの入れ替え。

548万7千円



箕輪町刑法等の一部条例改正

「懲役刑」と「禁錮刑」が、「拘禁刑」に一本化された。

請願

- さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保と
義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書採択
の提出について
提出者 町公立学校教職員組合

採択

- カリキュラム・オーバーロードの
改善を求める意見書の提出について
提出者 町公立学校教職員組合

採択

- 寒冷地手当の支給地域等の適正化を
求める意見書の提出について
提出者 町職員労働組合

採択

陳情

- 消費税率5%以下への引き下げを求める陳情書
提出者 上伊那民主商工会

平出	荻原	金澤	白鳥	中野	上田	岡田	小口	南	寺平	北野	中澤	中村	小出	入杉	結果
広志	省三	幸宣	真吾	友美	学	建二朗	智世	朋子	秀行	めぐみ	清明	政義	嶋文雄	百合子	
×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	-	不採択

反対討論

- 参議院選を控え、与野党で
引き下げる話が出ている。
今、町議会が意見書をあげ
る必要性はない。
- 単に5%と区切ったものでい
いのか国の動向をみるべき。

賛成討論

- 物価高の状況における世論
調査で、7割が減税を求め
ている。
- 地域経済活性化になる。
- 失われた30年と物価高に最
も効果的な施策である。

- 最低賃金の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の
採択を求める陳情書 提出者 上伊那地区労働組合連合会

趣旨採択をすることに対する決議

平出	荻原	金澤	白鳥	中野	上田	岡田	小口	南	寺平	北野	中澤	中村	小出	入杉	結果
広志	省三	幸宣	真吾	友美	学	建二朗	智世	朋子	秀行	めぐみ	清明	政義	嶋文雄	百合子	
○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	-	趣旨採択

反対討論

- 暮らしを守るためには最低賃金
の底上げが必要。
- 全国一律1500円にするには、国
の責任で中小企業への支援が必要。
- 議会が意見を出すことで政府を
動かせる。

賛成討論

- 間違った意見ではない
が、国へ支援を求めるの
は短絡的。
- 実現の可能性を議論の
基準とすると、不足して
いる。



趣旨採択…請願や陳情の内容に「気持ちは理解できるが、
現実的ではない」ときなどに、その考え方には賛成ですよ、
という形で受け止める採択の方法。
議会としては「不採択」と同じ扱いになります。

意見書

- 選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書の提出について
提出者 岡田建二朗

継続審査

慎重な審査を要するため
閉会中の継続審査とする。

農 PickUp

- 農地の保全と担い手確保のための農業
予算の拡充を求める意見書の提出について
提出者 岡田建二朗



平出	荻原	金澤	白鳥	中野	上田	岡田	小口	南	寺平	北野	中澤	中村	小出	入杉	結果
広志	省三	幸宣	真吾	友美	学	建二朗	智世	朋子	秀行	めぐみ	清明	政義	嶋文雄	百合子	
○	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	-	不採択

反対討論

- コメは上伊那広域で動いてきた。
広域議会で議論するのが先。
- 議論が足りない。
最終日に意見書を出されても判断できない。
- 40年余りで農業予算4割削減というが、コメ施策による赤
字補填が減ったと見ることができる。削減が悪いことだけ
ではない。
- 中山間地域でも大規模化は必要であり、平坦な農地との格
差の助長にはならない。
- 予算要求は簡単だが、具体的な理由が必要。

賛成討論

- 消費者の不満は全国的に高い。今、このタイミングで町
として国へ意見を出すべき。
- 物価高騰で支援が多い中、農地を守るのは食を守ること
でもある。
- 町は1ヘクタール以下の小規模農家が多く、その経営を下
支える施策として予算確保が必要である。
- 近隣は自治体独自で動いているところもある。箕輪町と
して動くべき。
- 海外の農に対する支援は多い。実際にお米がない、買えない
人もいる。このままでは日本の食糧は終わる。

総務産業 令和7年度一般会計補正予算(第2号)

■庁舎内使用PCのOfficeライセンス更新をリースから買い取りへ変更 555万円増

Q Office後継ソフトMicrosoft365にはAI機能が付いているか。

A オプションとなるため、付いていない。

■もみじ湖観光費インバウンド対策委託料 348万7千円

Q インバウンド対応計画の詳細は。

ココに注目!

A 来場方法の周知であるHP・SNS発信などを多言語(5ヶ国語)に翻訳する、コンシェルジュ配置、公共交通機関で来町の場合の多言語案内などを、追加して依頼する。



■住宅・建築物耐震改修事業費 150万円増

Q 昭和56年以前(旧耐震基準)の建物について、改修率はどのくらいか。

A 建築年別のデータはない。町全体では令和2年時点で新築を含めて74.7%が耐震化済み。

住宅の耐震にかかわる補助があります

町では、地震による住宅の倒壊被害を防止するため、旧耐震基準で着工された対象の住宅へ、診断士派遣や改修の助成金を出しています。

- ①耐震診断を無料で実施
- ②耐震補強費用の一部助成

町のホームページか建設課で確認を!



ココに注目!

■水道建設改良・老朽管更新事業

Q 今回の実行箇所は。

A 大原配水と消防署前を執行する。

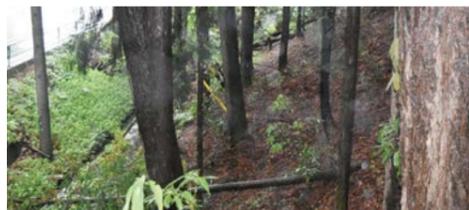
現地確認

総務産業

6月11日(水)



役場駐車場安全対策(ガードレール設置予定箇所)



町道6号線危険木状況(郷土博物館北側)



八乙女水路橋迂回路整備

その他の現地確認

木下特定空き家現地(木下)
水道耐震迂回工事予定地(松島)

福祉文教

6月11日(水)



解体する社会福祉総合センター



グループホームに貸付する沢住宅団地跡地



空調設備を交換する予定の東小学校給食室

福祉文教 令和7年度一般会計補正予算(第2号)

■男女共同参画・若者女性活躍推進報酬費 360万円

Q 多様性社会推進コーディネーターを、地域おこし協力隊として雇用するが、期間は。

A 7月1日から最長3年の契約となる。

Q 業務内容は。

A 男女共同参画推進・ジェンダー平等対策推進・多文化共生推進などを企業とも協力して行っていく。

■東小学校の給食室のエアコン交換 237万6千円

Q エアコンの位置が室内の中央にないため、端側とは温度差がある。部屋の中央に移動できないか。

A 検討したが、室外機の位置との関係で移動は難しい。

Q 調理場の温度の基準は室温が25℃以下、湿度が80%以下となっているが、それが守られていないと、現場の担当者より声があった。

A 保健所による指導を受けて、クリアしている。基準値は、努力目標となっている。

■財産の無償貸付(沢住宅団地跡地)

Q 沢区にできる障がい者グループホームについて、エレベーターは現状の図面がないが。

A 民間事業のため、エレベーターの有無は事業者の判断による。障がい軽度の人2階、重度の人は1階に居住予定。

Q グループホーム未経験の事業者で運営に課題はないのか。

こんな議論もされました。

■危険! リチウムイオン電池

Q リチウムイオン電池の回収方法は。

A 衝撃を加えると発火する性質がある。そのため正しい方法で廃棄しないと爆発事故や火災のおそれがある。役場電池回収ボックスへ出してほしい。

Q 以前、黄色の回収袋があり電池を入れていたが、今はないのか。

A 今は使用していない。今後、検討していく。



Q 新しいエアコンで現状復旧しても、温度と湿度は保てないのではないか。

A 新しいエアコンになれば性能もよくなるので、設置した後、調査してみないとわからない。

Q 他の小中学校は、どのような状況か。

A 南小、西小はエアコンも入っておらず、過酷な状況。

議員の視点



東小学校の給食室の環境問題を議員が指摘したことで、その他の学校の給食室がさらに悪い状況にあることが浮き彫りにされた。今後、町内の小中学校、保育園の給食室の改善を求める。

A 経営状態が赤字ではないなどの条件をクリアしている事業者である。

Q 建物が完成した後、町はどのように関わるのか。

A 定期的に地域連携推進会議を設ける。

Q 上伊那ではグループホームがどのくらいあるか。また、入居率は。

A 75のグループホームがある。入居率は93.3%である。

■新しい看板の内容について

Q 町内に設置されていた「セーフコミュニティ」3カ所の看板の内容更新について、なぜ、その内容になったのか。

A 各課に募集をかけた結果、提案が1件のみであったため、その内容をもとに、庁内で協議・確認のうえ、採用する形となった。今後も、より多くの職員の参画や多様な意見を取り入れられる仕組みづくりを検討していく。



町の声

箕輪町議会では議会だよりのモニター制度を行っています。今回は92号に寄せられたご意見をご紹介します。

事業に関する
ひとこと
広報に関する
ひとこと

「ココに注目」
「議員の視点」などは
親切な編集を感じる。

大型事業がほぼ終わったようだが、
十分に価値が得られたの？



特集
持続可能な
まちは
令和7年度
予算をみる

自分たちの声が
届いたことを知れて嬉しい。

正直わかりづらい。
もっと詳しく教えて。

一般質問

役場職員の数が多い。
町が良くなる
仕事に特化した職員のみ
残した方がよい。

各議員ごとではなく、
議会で伝えたいことは
絞ってほしい。

それぞれの議員が、
いかに町民の
生活・活動の中へ
入っているか、
差異がみえる。

ことも計画・
こともまんなか予算って、
結局何なのか
ピンとこない。

議員は、足を使って町民から
意見を聞き出すのが本来。
もっと探り出して欲しい。

継続して
やってほしい。
そして、議会に
活かしてほしい。

住民 懇談会

参加できなかったが、
面白い意見が出ていて興味深く読んで。

町の動きの一端が
見えて嬉しい。
もう少し、内容とページが
増えてもいいのでは。

定例会で
こんなことが
決まりました

みのわBASE
カフェコーナーに
委託料が発生している
ことに驚いた。
委託事業公募に
応募がないのは、
応募するに足る
魅力がないの！？
要件を精査してみて。

業務の委託は
かなり大きい金額。
費用対効果が
本当にあるのか
定期的にチェックを。

職員の
人手不足に
つきます。
AIに振りまかせ
早期改善を。

審査の なかみ

ゼロカーボンの名前が
独り歩きしている。
残念ながら中身がよく分からない。
事業として成立するのかが
調べたい方がよい。

「なるほど」「そうなのかな」などと
聞きながら読んで。
今後も充実を。

知ってる？ みのわまちのいいところ

箕輪町のいいところ、があったら教えてね。
✉ gikai@town.minowa.lg.jp

生きた遺産、円筒分水工

「自分たちが食べる米は、自分たちで作りたい」

「何とかして天竜川の水を引いて田んぼを作ることができないだろうか」という、昔からの地域の願いをかなえるために、難工事の末に完成した悲願の西天(1928年完成)。

岡谷市川岸地区から伊那市までの約25キロを流れる西天竜幹線水路に建設された57基の円筒分水工のうち、35基が現役で役割を果たし続けている、まさに生きている遺産だ。当時、水持ちの悪い田んぼの水不足をめぐって絶えなかった農民同士の水争い。

なんとかして公平に水を配分するために、岐阜の土木技師の可知貫一さんが考案した分水装置を、西天竜耕地整理組合の穂坂組合長が取り入れた。

これにより、田んぼの面積に応じて、決められた穴の数を割り当て、正確な比率で水を配分することができる。全国にある円筒分水工のなかでも、西天竜幹線水路沿いに点在する円筒分水工群は「全国最大規模」として、平成18年に土木学会選奨土木遺産に認定されている。



町政の
ここが
聞きたい!

一般質問

議員13人が町に質問・提案しました。

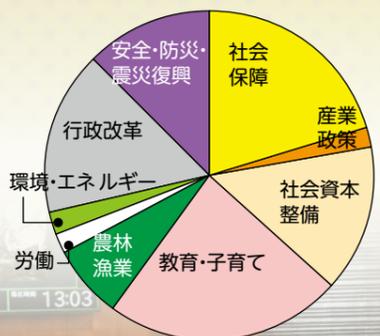
どなたでも傍聴する「よびかき」の
どしどしお気軽に庁舎3階の議場へお越しください。

「あなたの関心事はどれ？」

6月議会の一般質問で、議員が取り上げたテーマを、分野ごと可視化しました。

政策分野の内訳 質問件数(50件)

- 社会保障..... 10
- 産業政策..... 1
- 社会資本整備..... 7
- 教育・子育て..... 12
- 農林漁業..... 4
- 税財政・財政再建
- 労働..... 1
- 環境・エネルギー..... 1
- 行政・議会改革..... 8
- 安全・防災・震災復興..... 6



R7年産米の作付け 状況と町内消費の 仕組みは

なかのともみ
中野 友美 議員



町長 十分な作付量だが
地消の仕組みはない

議員 R7年産米の作付けの生産調整を依頼した意図と、方向性は。

町長 地域振興局が出す各自治体の生産目安値は、米の適正生産と価格の安定のためであり、調整を依頼した。2,173ト、面積で339.5ha。8.3haの作付超過であるが、町民・農家に対して減反の依頼はしない。

米の地産地消

議員 大切なのは地元の米が地元で回る仕組み。地産地消できる対策を考えているか。

町長 人口2万4,000人の箕輪町民がちょうど食べられる分の作付面積がある。約4割の農家が出荷するJAの捌き方や、米の保管場所問題もあり地産地消が難しい。町内産で流通をする仕組みはできていない。

小規模の米作りへの取組

議員 若者世帯や居住者同士が共同で米作りしようという声がある。農業応援団計画「小農を続けやすい、始めやすい環境づくり」について、米を作るための取り組みは。

町長 新規小農者も含めて、米作りについてはほとんどない。

次世代が 農に携わるための提案

議員 複数の家族などで米作りをする

「シェア田んぼ」。信頼できる農家と年間契約をする「かかりつけ農家」を持つなど、今回の米問題は、町民が農ある暮らしに立ち返るチャンス。施策と推進の考えは。

町長 地域を守る、農的な暮らしをするというレベルであればいいが、米の価格安定なくしてできないと思う。ただ、農家の中には、米作りの技術を教え、地域で食べてもらうならという人もいるので参考にする。



シェア田んぼの田植えの様子

自治費(区・常会加入費)や 地域差について

議員 区や常会への未加入の一因が、高額な入会費で地域差もある。町の考えは。

町長 活動や構成員の数によって運営が変わってくるが、それは区や常会の問題だ。町は区や常会の業務に対して支援をすることにより、入会費・年会費等を少なくしていくという方向性。一概には言えないが、基本的には入会費は要らないと思う。これにより地域や場所を選ばれるのは決していないことではない。

その他の質問

- 木ノ下駅周辺の整備(空き家・駅カメラ・町道8号拡幅など)

若い世代の不満への対応は

町長 若者の趣向にあった店舗展開を考える

議員 町の住民満足度調査の生活の満足度で、不満だと答えた16.5%の中で30代から50代の年代が高い傾向にあり、飲食店や娯楽施設が少ない、買い物などに不便、スポーツレクリエーションを楽しむ環境が整っていない、が上位を占めている。改善していく対応は。

町長 箕輪町の商圈が縮小してきているのでなかなか難しいが、若者の趣味趣向にあった店舗展開は可能だと思うので考えていきたい。

若い女性が働きたい職場を

議員 若い女性が働きたいと思うような職場を増やしていく取り組みは。

町長 第3次産業より第2次産業が多い箕輪町の中で業種としてはモノづくりが多い。その中で女性が働く場はたくさんあると思うので、若い女性が働きやすい環境をいかにつくるか。女性社員に向けたキャリアサポート、意識改革、固定的な役割分担意識の変換、生活の場としてのポテンシャルを上げていく必要がある。

障がい者グループホーム利用者への支援は

議員 建設が予定されている障がい者グループホームを利用したいという人の見込みは。

こいでしま ふみ お
小出嶋 文雄 議員



町長 町内外のグループホームを利用されている町民は36名であり、上伊那圏域のグループホームはほぼ満床の状態が続いている。また、町内の障がい者の方にアンケートした中では7人が入居を希望しており、今度建設されるグループホームは、フレンドワークなどの働く場所にも近く沢駅にも近い場所であり就労の場所にも通いやすい。

この施設は重度の方も軽度な方も入居できるので、入居者に対して日常的なサービスも十分対応できるということで入居者には朗報である。町も敷地を無償貸し付けをする。

議員 障がい者を見ている人たちが、支援している人たちも高齢化していく中で障がい者を見ている家庭の不安にどのように対応していくのか。

町長 年を重ねる中で、障がい者のお子さんを見ている方々は大変だと思う。町の支援では今までどおり成年後見制度や金銭管理や生活介護などの障がい者福祉サポートを行っていく。

グループホームに入れない方の居宅介護などの福祉サービスで障がい者本人だけでなく家族の負担を軽減することも重要であり、グループホームのショートステイなども使って少しでも介護する方の負担を軽減したい。

野良猫の保護、譲渡活動に対して補助を

町長 素晴らしい取り組みであり研究したい

議員 野良猫の保護、譲渡活動はほとんどボランティア団体や個人が行っている現状である。行政として動物保護活動に対して補助が必要と考える。

町長 こういった活動は大変ありがたいと思っている。紹介いただいた活動内容は素晴らしい取り組みであり、町として研究したい。



野良猫の不妊去勢手術費用補助の増額を

議員 猫の不妊去勢手術には、1万円以上の費用がかかるが、町の補助金は3,000円と低額である。手術費用相当分の補助の拡大が必要では。

町長 個人が負担する手術経費として見ると妥当ではないと感じる。引き上げについて検討する必要がある。

動物愛護を推進するまちづくりを

議員 箕輪町には長年、犬猫の保護活動を積極的に行っているボランティア団体や個人が多くいる。箕輪町が動物愛護の町として日本のトップリーダーとなるべく積極的な施策展開を望む。

町長 安全・安心とか生活の快適さ等を含め、提案を検討させていただく。

ひらいで ひろし
平出 広志 議員



学校教育変革への課題は

教育長 従来の一斉授業から一人ひとりの子どもに向けた取り組みという変革、授業内容の過多による学校現場の多忙化に対する変革、課題を地域の方々も当事者意識を持っていただけ環境づくり等が課題。

子どもが主体となる学校を目指す取り組みとは

教育長 子どもが思う存分、今を充実させて生活でき、これを教員が共に考え、作る学校づくりを大切にしたい。

マイナンバーカード2025年問題について

議員 本年はマイナンバーカード本体の交換と電子証明書の更新が延べ5,000件と急増するがこの対応は。

町長 カード等をかざすだけで申請書が作成される「書かない窓口」を7月から導入予定。休日対応も検討。

地区に「集落支援員」の導入を

議員 地区を中心に役員のなり手不足が深刻化している。役員の事務作業、会計管理等のサポート役となる「集落支援員」制度の活用を提案する。

町長 国の特別交付税措置がある制度であり、ひとつの手法であるので、前向きに考えていきたい。

米価の高騰給食費の保護者負担軽減を

町長 今後の高騰分も町で負担する

議員 一昨年から続く米価の高騰を受け、地域によっては米飯給食を減らしている。当町への影響は。

教育長 令和7年度は4,435円/10kgで年間契約しているため、年度内は現在の給食費での提供が可能。

議員 市場では5,000円/5kg近く、予算編成時よりも米価が高止まりしている。計上予算を上回っても、保護者の負担が増えないよう町で負担すべき。

町長 今後、米価が町の給食単価を上回っても、給食費を値上げせず町が負担する。

災害への備えをより具体的に

議員 4月に下古田区で行われた夜間訓練での課題や教訓を全的に共有する場の確保を。



下古田区で行われた夜間訓練

町長 防災訓練の際、町の本部訓練で下古田区の教訓を共有する。区長会などを通じて他の区でも取り組んでいただけるよう働きかけたい。

議員 沢上の国道沿いや東小付近など、古く大きな石碑が点在している。地震に備えて倒壊防止策を。

町長 博物館所有の石碑・記念碑のデータを基に調査をし、対応を協議する。

おかだ けんじろう
岡田 建二郎 議員



議員 3月議会で指摘した役場前の危険木が5月に倒木した。まだ危険な高木があり、早急な対応が必要。



5月に倒れたカラマツ役場前

町長 地権者の同意が得られれば9月にも補正予算を組んで対応したい。

議員 住宅の耐震改修補助金の町独自補助は何度も提案してきたが、実施に至らなかった。補助金の引き上げに至った経緯は。

町長 新築や建て替えによる耐震化率の向上だけでは間に合わない。安全な住宅環境を早急に整備するため予算化した。

死亡者数の増加、原因解明を

議員 町内で一昨年は297名、昨年は311名の方が亡くなるなど死亡者が増加している。コロナ感染や高齢化ではないと厚労省も認めているが、原因を把握しなければ健康推進施策に反映できない。今年も昨年同様に推移しており、早急な実態把握と原因究明を。

町長 傾向としては高齢者の死亡が増加している。統計を分析すると悪性新生物(がん)による死因が増えており、生活習慣の改善や検診率の向上が求められている。

米価高騰と農業経営の再建は

町長 米価上昇は消費者の米離れを招く

議員 米の高騰は農家にとってようやく再生産が可能な水準に達したものの、農業経営は依然として厳しく、後継者不足や資材高騰も深刻である。町としての見解は。

町長 原因は国による調査が必要だ。供給不足と高騰が重なり混乱を招いており、生産・流通の構造的問題があると考えます。過度な値上がりは消費者離れを招くため、持続可能な価格帯の設定が必要。農家の継続経営を支える保険制度等も求められる。

農地保全と兼業農家の役割

議員 農地を農地として守るには、認定農業者のみならず兼業農家や営農組合の役割も重要だ。地域全体で支える体制が必要と考えるが。

町長 米のみでの農業経営は困難な時代だが、農業に関わる家庭が地域にあることが町の力である。多様な働き方を支える柔軟な農業政策が必要。

地産地消と学校給食

議員 給食への地元産米の活用を今後さらに進める考えはあるか。

教育長 町内小中学校では上伊那産コシヒカリ100%を使用しており、年間約27トンを提供中。業者との調整もあり、現状の割合が適正と考えている。

おぎはら しょうぞう
荻原 省三 議員



育苗作業の継承と支援

議員 育苗作業の高齢化と担い手不足は深刻。町としての支援の考えは。

町長 みのわ営農では約18,500枚の苗を育苗しており、大きな役割を果たしているが、高齢化は進行している。今後は通年雇用や外部人材の導入を含めた体制整備が必要であり、相談があれば町としても支援策を検討する。

農政運動と町のかかわり

議員 かつて盛んだった農政運動が近年低迷している。町としても関与すべきでは。

町長 要望活動は国や県に対して行っており、町民を巻き込んだ運動が必要であれば支援も可能だ。運動の歴史を踏まえ、今後の展開を模索する。

道の駅構想と地域連携

議員 みのわテラスの道の駅構想と、地域団体の関与は。

町長 令和8年度中の登録を目指し、現行の提言やアンケートを基に整備を進めている。農業体験や防災機能を備えた施設とし、地元の意見を聞く場も検討する。西側農地の活用も含め、今後調整を進めていく。

萱野高原の活性化について今後の在り方は

町長 そろそろ考えなければならぬ

議員 萱野高原の活性化について、現在、老朽化により休止中のかやの山荘を含め、今後の利活用の見通しや、観光資源としての活性化方針は。

町長 課題は旧湯山荘の老朽化と、その後の跡地利用だ。予算が許せば解体も視野に入るが、利活用の具体案がない中での判断は難しい状況だ。昨年は観光協会がパラグライダー活用を模索し、適地であるとの報告もあった。道路や駐車場の課題もあり、整備には慎重な議論が必要だ。もみじ湖や赤そばの里のように、観光資源としての価値をどう位置付けるか、議会とも相談しながら検討したいと思っている。



3つのアルプスが見える展望台

議員 将来像を具体的に検討すべき時期に来ていると思う。方向性の示し方や町民意見の取り入れについて、どのように進めていくのか。

町長 ながた自然公園など他施設の在り方が先行課題だ。財源の状況を見ながら、萱野高原については次の段階で議論したいと考えている。

議員 町民参加による意見収集の仕組みやスケジュールのイメージはあるのか。

てらだいら しゅうこう
寺平 秀行 議員



町長 現時点で具体的なスケジュールはないが、キャンプブームの落ち着きもあり、今後の在り方についてはそろそろ検討を始める時期だと考えている。

外国人観光客に新対応

議員 もみじ湖のインバウンド対応は。

町長 紅葉時期の来場者は昨年5万6千人となり、外国人観光客も増加している。対応強化のため、交通案内やシャトルバス、多言語対応のコンシェルジュ配置を盛り込んだ計画を策定するため、補正予算に計上した。

議員 県道整備も重要だ。観光ルートとしての整備も視野に、県への要望を続けてほしい。

町長 県道442号は3か所の改良が困難だが、部分的な拡幅については県に継続して要望していく。

高校再編に丁寧な情報提供と支援を

議員 高校再編と進路指導への影響は。

教育長 伊那北・弥生ヶ丘高校の統合により、現中学2年生が弥生ヶ丘高校へ進学したとき卒業時に1学年になる単独在籍となる見通し。県教委に迅速な情報提供を求め、生徒と保護者に丁寧な説明を行い、適切な進路選択ができるよう支援していく。

ヒアリングフレイルの取り組みを

町長 提案の通り必要性はある

議員 ヒアリングフレイルは、認知症などとの関連が注目され、これまでのフレイル予防にプラスして取り組みが各地で始まっている。社会的孤立といったリスクを高める重要な課題である。啓発活動などの取り組みを。

町長 提案の通りである。聴力低下があっても、箕輪町で住み続けて欲しい。家庭の中でも難聴の方に対する対応をしていただくよう町としても、どのような形でサポートできるのか検討する必要がある。

ヒアリングアプリの導入を

議員 ヒアリングフレイルに取り組んでいる自治体で、聞こえの状態を知ることができるアプリを活用した簡易的なスクリーニングが行われている。介護予防の出前講座などで聞こえの相談会を実施することができる。アプリの導入を。

町長 対策としては確かにいいと思う。豊島区のヒアリングフレイルチェックはアプリで行っている。フレイルチェックという形でできるとすれば可能性があるのでは、状況を把握したい。

フレイル予防について

議員 フレイル予防の中で「栄養」「身体運動」「社会参加」の三本柱を意識して、個別ではなく、一体的に取り組むことが重要であるとされている。

しろとり しんご
白鳥 真吾 議員



三本柱について、町での取り組み状況は。

町長 町におけるフレイル対策は、健康アカデミー、健康ポイントや、ナイトウォーキングのようなイベントもそうである。ふれあいサロンや百歳体操など、憩いの場が必要だと思う。住民主体で計画・実施をすることが、フレイル予防には大事な取り組みである。

全世代を対象にした啓発を

議員 フレイル状態になる前に何をしたらいいのか、どこに相談したらいいかなどを高齢者だけでなく、若い世代からフレイル予防に取り組むことが大事である。全世代を対象にした啓発活動などの実施を。

町長 高齢者の課題だと、とらわれがちであるが40代・50代でもフレイルに該当する方がいるようである。筋力低下などフレイルの芽を放置すると、将来フレイルになる確率が高くなることがあるので、働く世代からのフレイル予防が必要である。



当たり前気づく 文化政策が 必要では

町長 今後反映できるように
検討する

当たり前ではない 豊かさについて

議員 当たり前として見過ごしてしまうものの中に、特別な価値がある。それは非日常的なものではなく、むしろ日常の中にある「気づき」によって見だせる奇跡や発見である。だからこそ、町としても当たり前を当然のままにせず、その奥にある価値に光を当てる姿勢が必要ではないか。当たり前として見過ごされがちな豊かさについて、町として評価発見の考えは。

町長 第5次振興計画では、自然、産業、歴史文化、安全安心といった町の豊かさを整理してきた。単なる利便性ではなく、箕輪町ならではの価値を共有し、若者にも誇れる町を目指す。

議員 その価値を町民一人ひとりが深く理解し、語れるような文化政策も必要では。

町長 表面的に語るのではなく、歴史や背景まで掘り下げることが重要だと私も思う。改めて考える視点を育てたい。

議員 こうした考えを、町の総合計画や将来ビジョンに理念として明記すべきでは。

町長 現行計画には明記されていないが、今後の計画に反映できるように検討する。

う え だ ま な ぶ
上田 学 議員



信州型コミュニティスクール とTOCO-TON (トコトン)

議員 地域と学校が連携し、子どもが学校運営に参画する機会を広げべきでは。

教育長 ふるさとルームの整備や子ども主体の行事運営など、学校運営に関わる仕組みを少しずつ進めている。

議員 ウェルビーイング実践校「TOCO-TON」とも連携を深め、地域と学校の関係性を高めるべきでは。

教育長 地域の学びや人材活用を通じ、地域と学校の相互関係を育てていく。

学校のプール授業

議員 猛暑による水泳授業の中止が続いている。これからの学校プールの在り方は。

教育長 暑さ指数による安全管理を行い、去年度は取りやめた授業は長寿命化計画と合わせて検討していきたい。



耐震診断・耐震補強 の申請状況は

町長 関心は高いが工事に
進まない

議員 耐震診断、耐震補強の状況は。
町長 診断の申請は今年度10件と関心が高いが、改修が進まない。

議員 実際に耐震診断や補強をした方に、写真を織り交ぜてレポートしてもらっては。

町長 補強をした方から、安心した実感を伝えてもらうことは必要。方法を含め検討したい。

議員 三日町の田中城地区に住んでいる方から、箕輪進修高校に避難することになっているが、遠いので工場の2階などに避難できないかという声があった。松島区、木下区なども浸水想定区域が広い。避難所として民間企業と協定しては。

町長 2階のある工場等、必要性があるかもしれない。可能性を探りたい。



フリースクール利用時の 補助について

議員 学校へ行っていない児童・生徒の家庭では、フリースクールなどの1ヶ月の利用料が30,000円かかることも。「学校に行く意欲が出てきたときに勉強の遅れが不安」、「仕事をセーブしているため経済的な不安がある。

お ぐ ち ち せ
小口 智世 議員



安心してフリースクールに通えるよう、金銭的な補助があると大変ありがたい」といった声が寄せられた。補助についての考えは。

教育長 家庭によりいろいろな状況がある。何らかの支援を検討しているが、結論は出ていない。

議員 学校にも居場所にも行っていないお子さんがいる。外に出ようと思える選択肢があること、出られる環境やサポートがあることが大事。保護者が「行きたいときにいつでも行けばいいからね」と言ってあげられるよう支援を。

誰もが住みやすい 町について

議員 伊那養護学校の児童生徒で町の小中学校に副学籍を持っているお子さんが現在5名。地域で一緒に育っていくお子さん。町の小中学校の将来像を検討するにあたり、保護者にメンバーになってもらっては。

教育長 審議会メンバーは20名以内。ほかの特別支援学校を含めて保護者枠に入ってもらえるか検討したい。

議員 町独自のユニバーサルデザイン条例を制定することで、都市計画、福祉施設など担当課をまたいだ誰もが住みやすいまちづくりが意識できるようになり、障害がある方の就労の後押しにもなるのでは。

町長 技術的な面も含めて、町レベルでユニバーサルデザインを具体化していくのは難しい。

災害時の備蓄品 保管場所の管理、 現状と課題は

町長 保管場所は
分散管理が基本

議員 近年全国的に地震や豪雨など自然災害が多発。災害時の備えとしての物質確保と適切な管理が極めて重要。

備蓄品の管理などの、 現状と課題は

町長 保管場所である防災倉庫は小中学校に1機ずつ、保健センター、みのわBASEなど計12か所。保管場所は分散管理、併設以外の施設は、断熱性に優れた素材で排気口も備え、全国で最も普及しているタイプ、保存期限より早い段階で劣化が起きたことは今まではない。内閣府の管理システムに連動した民間システムを今年度より活用、保存期限が到来する旨の予告メールを受け取れる体制。

議員 食料や医薬品など期限がある備蓄品の管理、廃棄予定の備蓄品の有効活用は。

総務課長 町単独の表計算ソフト、ネット上のシステムを使用して管理。保存期限の近くなった物資は、小学校への声掛け、町の社会福祉協議会を通じ、子ども食堂・フードバンク等に提供。

教育行政の 基本的なビジョンと 特に力を入れて取り組む 重点施策は

議員 2期目を迎えた教育長の教育行政の基本的なビジョンと特に力を入れて取り組む重点施策は。

な か む ら ま さ よ し
中村 政義 議員



教育長 自己課題を追求し周囲と共同しながら自己実現を図る、楽しく主体的な学びを目指し、重点施策としては安心できる学級、学校づくり、子どもが主体となって取り組む授業作り、地域に根ざしたふるさと学習、箕輪学を中核に据えた教育を地域の皆様と共同しながら進めて行く。

議員 本町における中学校の部活動の現況、活動時間、参加人員、指導体制は。

教育長 中学校で実施している部活動数は、12の運動部と7の文化部、生徒の参加率は約65%で、運動部加入率が全体の57%、文化部加入率が43%となっており、文化部入部生徒は増加傾向。学級数減に伴い教員数も減ったため、主顧問は19の部活に1人ずつだが、副顧問は複数の部活に1人という状況が出てきている。

議員 部活の地域移行の準備状況は。

教育長 準備ができ次第今年度中に数部活、令和8年度中には地域展開ができることを目指し進める。

議員 部活地域移行が行われた後の安全対策は。

教育長 活動時の安全確保、事故対応は現場の指導者が対応者としての責任をもつ事となっている。その方だけに責任を持ってもらうということは、とても重い今後の課題。

分担金の廃止と、 分担率の軽減を

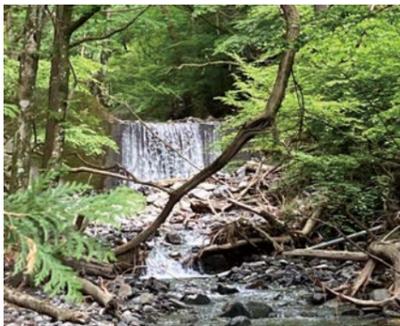
町長 来年度予算で検討する

議員 町道など公共土木工事を、自治体負担で行っている近隣市町村もある。分担金を廃止にできるのでは。

町長 地域総合活性化事業交付金の活用で多くの要望箇所に対応し、各区の希望に沿った実施ができています。

議員 弱小区は、要望すらできていない現状がある。農道・農業用水路(改良事業)の分担率引き下げを。

町長 農業者の減少により受益者負担では対応しきれない。農業用水路が雨水処理を兼ねており、地域だけでは困難なことも承知しています。来年度予算で分担率の引下げか、交付金の上限引上げかを実証したい。



整備できていない北の沢川の取水口

区をひとつに。 段階的に、6消防団区や 5小学校区に

議員 区の格差が大きい。小さい区が自治を行う限界は見えている。区をひとつにまとめ、自治もお祭りも町民みんなの手で行う。段階的にまとめたい考えは。

町長 区民のなかで合併の総意があれば、町としては協力体制を敷く。

みなみ ともこ 議員



福祉のまちづくり バリアフリー化の推進

議員 議場・傍聴席をバリアフリーにし、多目的化する考えは。

町長 議会で考えて、提案を。

議員 庁舎周辺は段差が多い。整備・解消していく考えは。

町長 提案については、承知した。

議員 誰もが住みやすい町としての姿勢を明確にするためにも条例を。

町長 県条例は推奨に留まるため、基本戦略として理解できる。

食料自給率 100%の町をめざす

議員 お米をお店で買っている世帯把握のためのアンケート調査を。

町長 広く現物支給ができないため、アンケートを取るつもりはない。

議員 日本のピンチが町にとってはチャンス。お米の心配のいらぬ箕輪町を売りにする。新たに米作りを始める人への支援、指導者への報酬や農機具のレンタルなど、何らかの支援はできないか。

町長 一段落したときに、農ある暮らしの手法としては考えられるが、現時点では空想の世界。

議員 一段落したところで、いつまたこの状況がやってくるかわからない。先陣を切り「箕輪町はみんなを守る」といったら強い。食糧安全保障を町レベルで。

災害時の家庭での 携帯トイレ等備蓄 の徹底は

町長 自宅のトイレ備蓄について
周知啓発する

議員 避難生活には、飲食物以上に必要な備えがトイレ対策である。行政に頼らず、家庭が責任をもって自分たちで準備する意識を強く呼びかけ徹底していくべきでは。

町長 必要性・重要性を感じている。ご自宅の避難所においてもトイレの備蓄について、今後周知啓発するようにしたい。

議員 内水氾濫による汚水の逆流を防ぐ対策について周知し、徹底する呼びかけが必要だと考えるが。

町長 箕輪町は、雨水と汚水は別々に排除されている分流式のため、汚水の逆流は起きないので、この点については心配がない。

議員 避難所となる建物において、耐震基準が満たされているかどうか。

町長 昭和56年5月以前の旧耐震基準で建築された避難所は、沢公民館の南棟、中曽根公民館の西棟、福与公民館の南側と、子育て支援センターいきいきセンターサンライズの4カ所である。区長からも問い合わせをいただいているが、耐震改修の状況によっては大変多額なものとなるため、踏み切れないという点が課題である。補助金の活用、または、他の方策がないか区長と相談していく。



きたの めぐみ 議員



学校の防犯対策について

議員 不審者の侵入に、教師と児童はどのような対応、また、訓練をしているのか。

教育長 警察の助けを借りた教職員の訓練や、その場で子どもたちが自分で何をすればいいのか理解する訓練を行っている。また、登下校時の不審者による声かけの訓練にも取り組んでいる。しかし、形だけになってしまっている部分もあるので、もう一度しっかり、対応していきたい。

教育現場の課題について

議員 学校現場において、教員の保護者への対応の現状は。

教育長 保護者対応に苦慮している状況は、どの学校にも複数件ある。学校の担任の先生や管理職が動かないと解決に持ち込むことが難しく、学校現場の負担は変わらない状況がある。県でもスクールロイヤー制度があり、専門家を介してのアドバイスをもらう必要がある。

議員 教育相談室の課題は何か。

教育長 主な相談は、特別支援学校・学級への就学相談である。相談件数は年々増えており、二人体制では厳しい状況である。また、それ以外の総合的な教育相談については、現時点では対応が難しいことも課題である。

町政を担って10年 町はどう変わったか

町長 トップダウンから
庁内分権型に

議員 町政を担って10年が経つが、どんな姿勢で取り組みをしてきたか。就任時と比較し、役場組織や職員意識、町政はどう変わったか。

町長 就任当初課題ともされていなかった人口減少問題を正面に据えて行政運営を進めてきた。10年前の看板政策だったセーフコミュニティと健康づくり、一味違う教育は実質的成果・効果が伴わない事業のため止めてきた。トップダウン型の行政運営からの脱却を主眼に置いて、課長、係長、係のラインを大事にし、トップダウンでなく、庁内分権型のミドルアップを基本姿勢に進めてきた。組織については大課制を分割し、12課を今は18課で担っている。経営意識という面ではだいたい職員に植え付けられたと思っている。

議員 取り組み中の大型事業の残り任期での完結見通しは。残してきた課題は何か。

町長 取り組み中の大型事業は町民体育館と武道館の建設で任期中に完結する見込み。今後の課題は小中学校の大規模改修、ながた公園の施設の老朽化、産業立地など任期中に方向性を出していきたい。民間活力を十分捉えきれなかったり、地域のコミュニティが非常に弱くなっていてもう一度町の姿を考えざるを得ないと感じている。

その他の質問 ●国が進める地方創生伴走支援 ●地域コミュニティの復活再生

なかざわ きよあき 議員



障がい者グループホーム

議員 沢町営住宅跡地に建設される障がい者グループホームについて町民優先の利用が公募段階では謳われていたがどのように実現していくか。

福祉課長 公募の段階、契約の段階でも町民を優先できる事業所ということで選定しているが、経営上のこともあり町外者の利用もありうる。

議員 安全、防犯対策の状況は。また地域や近隣住民との連携・交流は。

福祉課長 カードキーや防犯カメラも設置し、徘徊等はない安心した施設で地元で迷惑のかかることはない。地域連携会議を持つ予定で、事業者、利用者、沢区長、民生委員、役場が入るよう考えている。地域の美化ボランティア活動にも参加するよう事業者には要請していく。

沢大出地区の 雨水排水対策事業

議員 令和8年度以降の事業箇所は。また中期的計画は。

町長 8年、9年度でバイパス沿いの水路160mを改修する。その後町道51,116,154号線の改良に合わせて工事をしたい。保育園南側側溝からの水は国道バイパスの信号機のところに入れていきたいが、9年度以降についてはやりながら考えたい。

仕掛け人は町民 みんなのパワーが町を変える

自治チカラ Vol.6

夏草や兵どもが夢の跡… 「上ノ平城跡」

一本桜で有名になった、南小河内の県史跡「上ノ平城跡」。南信濃源氏の祖、源の為公嫡流の本拠地であり、県で最も古式とされている遺構。

「上ノ平城跡の会」は2004年に地元有志で発足し、4月から10月までの月に一度、メンバーが周辺の草刈りやラベンダー畑などの管理を行っている。

今では広い原っぱとなった、城跡は経ヶ岳までが見渡せる絶景スポット。

桜の季節だけでなく、心地よく手入れされた空間で、ピクニックやたこ揚げなど、自由にくつろいでも



りたいと、井澤光和会長は話された。今年度はさらに魅力を伝えようと、事務局の窪田さん主導でインスタグラムの発信やフォトコンテストの開催、ラベンダーの摘み取りやポップづくりなどのイベントで会の認知度アップにも力が入る。



この会にも会員不足や高齢化の波が来ており、町内から広く会員を募っている。

いにしえから町の変遷を見守ってきたこの地のまなざしはやさしく、おらかなものでした。



行政視察

議会運営委員会 6/24 (火) (飯島町)

近年、議会活動の発信は必要不可欠なものとなっており、町民と議会をつなぐ議会広報の役割は非常に大きくなっている。現在特別委員会と位置付けている広報委員会の常任委員会化を検討するため、先進事例である飯島町議会を視察し、取り組みの経過や課題、効果について学んだ。



参加議員 中澤、白鳥、平出、岡田、寺平、入杉、中野

議場DX

放送設備が改修されました (改修費 2,761万円)

町は昨年度、議場の会議システムを改修。6月定例会から、議員の質問席に設置した書画カメラの利用を開始した。議員は資料や写真を議場内の大型モニターに映し出し、説明や質問を行った。



9月定例会の予定	
9月 1日(月)	開会
9月 8日(月)	一般質問
9日(火)	一般質問
10日(水)～12日(金)	委員会審査
16日(火)	閉会

編集後記

先日、句会ライブへ行きました。五七五という短い音数で、情景や心情を深く表現する日本独特のことばの素晴らしさに感銘を受けました。議会広報も俳句と同じぐらい簡潔に、町民の皆さんと課題を共有できるように届けたい。

今号より広報制作メンバーが新しくなりました。モニターの声や全国議会広報機関のアドバイスをもとに読者層も広がるよう、さらに「議会だよりの在り方」を検討して参ります。ぜひ周りの方にも広めてもらえたら嬉しいです。

(中野 友美)

【議会広報特別委員会】

中野 友美 (委員長) 上田 学 (副委員長)
荻原 省三 南 朋子 北野 めぐみ

議会事務局

電話 0265-79-3187 (直)
ご意見・お問い合わせはコチラ▶

